

令和元年度
学校関係者評価報告書

リリーこども&スポーツ専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価について

リリーこども&スポーツ専門学校は、令和2年6月13日に「令和元年度学校評価報告書」の結果をもとに、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

2. 学校関係者評価委員

1) 業界企業団体関係者

能本守康 株式会社ケアファクトリー 代表取締役
田仲一徳 リリースポーツクラブ 校長
森山進吾 茨城県キャンプ協会 専務理事
塩田則男 株式会社阿吽 代表取締役
鈴木研介 リリーバール小学校 教頭

2) 卒業生

羽生美穂 リリーの森幼稚園 園長
森田貴代美 ヴィクトリアナーサリー 園長

3. 評価領域ごとの学校関係者評価・意見

1) 教育理念・目的・人材育成像

- ・「夢と志を持って新しい価値を創造する人材の育成」を教育理念とし、専門的な知識と技術を備えた人材の育成に努めている。
- ・実習により現場での経験をさせることで即戦力となる人材の育成に努めている。
- ・業界と連携し、現場で求められる人材の把握に努めている。

2) 学校運営

- ・運営方針、事業計画を策定し、職員間で共有されている。
- ・組織図を明確に示しており、意思決定機能が明確にされている。
- ・新たに学生管理システムを導入するなど、業務の効率化に努めている。

3) 教育活動

- ・教育理念に基づき適切に教育課程が作られており、教育活動も適切に行なわれている。
- ・業界のニーズの把握には努めているようだが、中長期的な業界の動きを見据えた人材育成について再検討する時期にあるのではないか。
- ・学生の成績評価、単位認定の基準は明確であり適切に運営されている。
- ・授業評価については準備中ときいている。体制を整え早期に実施し、授業の質の向上をはから

りたい。

- ・実務経験のある教員を確保している点は評価できる。今後は現場のニーズに即した新たな手法による指導ができる教員の確保にも努められたい。

4)学修成果

- ・例年高い就職率を維持している。個別指導に注力していると聞いており、職員の努力がうかがえる。

- ・健康スポーツ学科の資格取得率が低迷している。資格対策講座の強化など対策を講じられたい。

- ・退学率を低減させるために個別面談や保護者との連携をされていると聞いている。今後も継続するとともに、さらに退学者を減らすための組織づくり等を検討されたい。

5)学生支援

- ・学科、学年担当制が学生の学習、就職、生活面等の総合相談窓口として機能している点は評価できる。

- ・年間3回の保護者会の開催に加え、学生に問題が生じた場合の保護者との連携体制が整えられており、家庭と協力した教育に努めている。

- ・卒業生への情報発信等、卒業生の支援に努められたい。

6)教育環境

- ・業界と連携し、実習施設の確保に努めている。また海外研修についても受け入れ先との連携に努めている。

- ・教育に必要な施設・設備は整えられているが、一部老朽化しているものが見受けられる。機材の入れ替え等を検討されたい。またインターネット環境が一部の教室に限られている。今後のICTの活用等を踏まえ、環境整備を検討されたい。

7)学生の受け入れ募集

- ・ホームページのみならず、SNSを活用した情報発信に努めている。また、オープンキャンパス、保護者向け説明会、個別相談会など、年間20回以上のイベントを開催しており、学生募集に努力されている。

- ・オープンキャンパスで学生スタッフの活躍の場をより多く設けるなど、教育内容をアピールできるような新たな仕組みを検討されたい。

8)財務

- ・中長期的に財務基盤は安定しており、予算、収支計画等も妥当である。

- ・定期的に会計監査を実施しており、適切に行われている。

9)法令等の遵守

- ・各種資格養成課程、および専修学校専門課程の設置基準を遵守し適切な運営がなされている。
- ・個人情報の保護について、守秘義務等の確認をしている。今後は誓約書等を整備し、さらに強化するよう努められたい。
- ・自己評価の結果公表についてはこれから整備されると聞いている。早期に整備し公表されたい。

10)社会貢献・地域貢献

- ・外部の講習会や試験会場としての貸し出しを行っている。またアリーナは幼児体育のスクール会場として貸し出している。
- ・いきいきいばらきゆめ大会のボランティアとして多数の学生が準備段階からかかわったことは評価できる。また、近郊で実施されるスポーツ大会にも多くの学生がボランティアとして参加している。今後も多くの学生がボランティア活動に参加できるよう努められたい。